【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： NHL-135＋(維持)136

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
CD20陽性FL	G-Benda療法	下記参照	6コース	□ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	中	〈GALLIUM試験〉 N Engl J Med. 2017; 377: 1331-1344.

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
【導入療法】1コース:4週間																																
①	プレドニン 生理食塩液	100㎎ 50mL	点滴静注	30分	↓							(↓)							(↓)													
②	ガザイバ 生理食塩液	1000㎎/Body 250mL(合計)	点滴静注	医師指示	↓							(↓)							(↓)													
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分	↓	↓						(↓)							(↓)													
④	パロノセトロン	0.75mg	点滴静注	5分	↓																											
⑤	ベンダムスチン 生理食塩液	90mg/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓	↓																										
	生理食塩液	250mL	点滴静注(側管)	60分	↓	↓																										
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓	↓																										
【維持療法】2ヶ月ごとに投与																																
①	プレドニン 生理食塩液	100㎎ 50mL	点滴静注	30分	↓																											
②	ガザイバ 生理食塩液	1000㎎/Body 250mL(全量)	点滴静注	医師指示	↓																											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分	↓																											

＜注意事項/備考＞

✓ ガザイバ投与前にPSL注射、ブルフェン200㎎、ポララミン2㎎内服

✓ 1コース目のみ、ガザイバDay8、15にも投与

✓ 2024/04よりトレアキシンからベンダムスチンへ変更。